

生体、販売に関する説明事項及び同意書

②販売店控え

1 予防接種について

仔犬・仔猫の病気には感染することで命に関する伝染病もあります。これらの病気を予防するためにも事前にワクチンを接種することで体内に抵抗力をつけておくことがワクチン接種の目的です。

仔犬・仔猫は母親からの初乳を介して母親からの免疫を譲り受けますが、免疫抗体は45日～90日くらいで効果が無くなります。この抗体が切れる期間が病気にかかる危険な時期となりますので、これを防ぐために1回目のワクチンの時期を上手に判断して接種する事が重要です。しかし、母親から譲り受けた免疫が少しでも残っていると十分なワクチンの効果が得られないため、その後3～4週間後に追加で1～2回の接種が必要です。また、ワクチンの免疫効果は約1年ですので毎年継続して接種することが必要となりますので、かかりつけの獣医師にご相談ください。

尚、ワクチン接種をおこなう場合は生体の体調を十分注意し、接種後2週間はシャンプーや、他のワンちゃんネコちゃんとの接触、屋外でのお散歩(公園デビュー)も避けてください。

2 狂犬病ワクチン

生後3ヶ月以上経ちましたら、市役所に蓄犬登録が必要となります。市役所から配布される広報誌での狂犬病ワクチンの案内に従うか、かかりつけの獣医師でワクチン接種を受ける事で自動的に登録され、鑑札をつける事ができます。

3 虫下し、検便

全ての仔犬・仔猫に対し販売前に検便・駆虫を行なっておりますが、駆除できるのは成虫のみです。生体引渡し後に卵が成虫になり、便に混じる事がありますので定期的に検便を行い、必要に応じて駆虫するようにしましょう。

4 フィラリア予防

フィラリアとは心臓や肺動脈にそうめん状の寄生虫が宿る病気で一度かかってしまうと手当てできない恐ろしい病気です。蚊から伝染するため蚊の発生時期(5～11月)に予防薬を投与し感染予防をしましょう。

尚、投薬は獣医師による事前の血液検査を受けてから行なってください。

5 食事について

生後3ヶ月～6ヶ月(成長を見ながら)は1日3回きまった時間に適量を与えてください。フードの与え方として、最初は10分～20分間お湯でふやかして(スポンジ状)から与え、成長とともにドライにしていきましょう。

量の目安として、便の硬さ(硬い場合は増やす、柔らかければ減らす)を見ながら調整しましょう。

(注意・タコ、イカ、エビ、青魚、ネギ、ニンニク、漬物、人間用の牛乳)は与えないでください。

6 健康管理

基本的に仔犬・仔猫の間は睡眠と食事が基本となりますので、規則正しく出来ているかを注意し、生活が出来る環境を作ってあげるようにしましょう。また、体温調節ができないので季節に応じた温度調整をしてあげましょう。

(注意・下痢が数回続いた、ぐったりしている、嘔吐が続いた、咳が止まらない、体温が高い)獣医師に連絡してください。

7 確認事項

動物取扱責任者は生体引渡し前に上記事項を飼い主様にご説明し、飼い主様は内容を理解し、同意納得の上、家族の一員として受入れ、終身最後まで可愛がっていただける様をお願いいたします。

※ 生体については命ある生き物であり、ご購入の上いかなる場合もご返品、交換、返金は一切応じかねます

※ 血統書は登録団体(クラブ)によっても異なりますが、発行に3～6ヶ月かかることがあります

※ 生体についての詳細については別紙添付資料にて説明いたします

平成 年 月 日

動物取扱責任者

お客様ご署名

姫路市飾磨区矢倉町1丁目84

ペットランドすまいる 鈴木昭宏

Ⓜ

Ⓜ

生体、販売に関する説明事項及び同意書

①お客様用

1 予防接種について

仔犬・仔猫の病気には感染することで命に関する伝染病もあります。これらの病気を予防するためにも事前にワクチンを接種することで体内に抵抗力をつけておくことがワクチン接種の目的です。

仔犬・仔猫は母親からの初乳を介して母親からの免疫を譲り受けますが、免疫抗体は45日～90日くらいで効果が無くなります。この抗体が切れる期間が病気にかかる危険な時期となりますので、これを防ぐために1回目のワクチンの時期を上手に判断して接種する事が重要です。しかし、母親から譲り受けた免疫が少しでも残っていると十分なワクチンの効果が得られないため、その後3～4週間後に追加で1～2回の接種が必要です。また、ワクチンの免疫効果は約1年ですので毎年継続して接種することが必要となりますので、かかりつけの獣医師にご相談ください。

尚、ワクチン接種をおこなう場合は生体の体調を十分注意し、接種後2週間はシャンプーや、他のワンちゃんネコちゃんとの接触、屋外でのお散歩(公園デビュー)も避けてください。

2 狂犬病ワクチン

生後3ヶ月以上経ちましたら、市役所に蓄犬登録が必要となります。市役所から配布される広報誌での狂犬病ワクチンの案内に従うか、かかりつけの獣医師でワクチン接種を受ける事で自動的に登録され、鑑札をつける事ができます。

3 虫下し、検便

全ての仔犬・仔猫に対し販売前に検便・駆虫を行なっておりますが、駆除できるのは成虫のみです。生体引渡し後に卵が成虫になり、便に混じる事がありますので定期的に検便を行い、必要に応じて駆虫するようにしましょう。

4 フィラリア予防

フィラリアとは心臓や肺動脈にそうめん状の寄生虫が宿る病気で一度かかってしまうと手当てできない恐ろしい病気です。蚊から伝染するため蚊の発生時期(5～11月)に予防薬を投与し感染予防をしましょう。

尚、投薬は獣医師による事前の血液検査を受けてから行なってください。

5 食事について

生後3ヶ月～6ヶ月(成長を見ながら)は1日3回きまった時間に適量を与えてください。フードの与え方として、最初は10分～20分間お湯でふやかして(スポンジ状)から与え、成長とともにドライにしていきましょう。

量の目安として、便の硬さ(硬い場合は増やす、柔らかければ減らす)を見ながら調整しましょう。

(注意・タコ、イカ、エビ、青魚、ネギ、ニンニク、漬物、人間用の牛乳)は与えないでください。

6 健康管理

基本的に仔犬・仔猫の間は睡眠と食事が基本となりますので、規則正しく出来ているかを注意し、生活が出来る環境を作ってあげるようにしましょう。また、体温調節ができないので季節に応じた温度調整をしてあげましょう。

(注意・下痢が数回続いた、ぐったりしている、嘔吐が続いた、咳が止まらない、体温が高い)獣医師に連絡してください。

7 確認事項

動物取扱責任者は生体引渡し前に上記事項を飼い主様にご説明し、飼い主様は内容を理解し、同意納得の上、家族の一員として受入れ、終身最後まで可愛がっていただける様をお願いいたします。

※ 生体については命ある生き物であり、ご購入の上いかなる場合もご返品、交換、返金は一切応じかねます

※ 血統書は登録団体(クラブ)によっても異なりますが、発行に3～6ヶ月かかることがあります

※ 生体についての詳細については別紙添付資料にて説明いたします

種別	犬種		生年月日	平成	年	月	日生
	色		ワクチン接種	1回目	年	月	日接種
	性別			2回目	年	月	日接種
販売価格	円		接種回数は生後の日数によって違います				
価格明細	生体代金	円+ワクチン代	円/	回+血統書	円+その他	円	
動物取扱業名称・責任者氏名・番号 ペットランドすまいる 鈴木昭宏 姫路市販売 第08-112号							